

# すぐそばにいた TOMODACHI

2013年11月16日(土)

14:00-16:40 (開場 13:30)

入場無料 申込不要 (先着 400 名)

東京経済大学 4号館 1階 D101 (国分寺駅南口から徒歩 12分)  
ゲスト: セシリア亜美 北島 (「すぐそばにいた TOMODACHI」監督)  
◎上映後、セシリア亜美 北島さんによるトークがあります。

3.11 東北大震災での米軍救援活動は OPERATION TOMODACHI と名付けられた。そんな中で在日ビルマ人 95 人が被災地に行きボランティアを行った。

こんな近くにこんな TOMODACHI がいたなんて。祖国を追われ、庇護を求めてやってきたビルマ人がこんな近くに暮らしていることを私たちは気付かずに生活している。

国に帰るに帰れず、日本の難民制度の壁の二重苦に苛まれているにもかかわらず、彼らは被災地のためにボランティア活動をするのを買って出た。彼らを突き動かすのは一体何なのであるのか? 過酷な状況の中、彼らの 5 年を追い、力強い生き方に密着した。

<http://neighbourly-tomodachi.jimdo.com/>

●YouTube に予告篇があります。

## セシリア亜美 北島 (せしりああみ・きたじま)

アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。助監督やスクリプターを経て、短編「その手をください」を制作。2008 年、SKIP シティ国際 D シネマ映画祭「D-コンテンツマーケット」で企画選出、東京都国際映画祭 TPG で企画選出。2009 年、日本に住む外国人の声を集めたショート・ドキュメンタリー『Voices of Migrants in Japan』が第 1 回移民映画祭で上映された。「すぐそばにいた TOMODACHI~The Neighbourly TOMODACHI」は、第 6 回 UNHCR 難民映画祭 2011 オープニング作品、山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011、ヒューマンシネマフェスティバル 2012 など各地で上映。震災から 1 年後、50 人ほどのビルマ人たちが石巻を訪れ、炊き出しや音楽パフォーマンスを行い、本作も上映された。2013 年、バン格拉デシュ・ダッカで、貧困脱却イベント「リキシャ・フィエスタ」を企画開催、ダッカ市内でリキシャレースを行った。同時にドキュメンタリー映画『リキシャレースにかけける夢~Dreams for the Rickshaw Race』を製作。現在、そのフィクション映画を準備中。



# 先祖になる

2013年11月30日(土)

14:00-17:00 (開場 13:30)

入場無料 申込不要 (先着 400 名)

東京経済大学 4号館 1階 D101 (国分寺駅南口から徒歩 12分)  
ゲスト: 池谷 薫 (「先祖になる」監督)  
◎上映後、池谷 薫さんによるトークがあります。

男の名は佐藤直志。岩手県陸前高田市で農林業を営み、仲間から“親分”と慕われている。彼の家は 1000 年に 1 度の大津波で壊され、消防団員の長男は波にのまれた。生きがいを失った男に何ができるのか? 直志はひとつの決断をください。元の場所に家を建て直そうというのだ。自分はきこりだ。山に入って木を伐ればいい。友人から田んぼを借り、田植えもしよう。仮設住宅には何があってもいい。

土地に根ざし、土地に生きる人々の行く末をおもう彼の強さと優しさは、少しずつ周囲を動かし、生きることの本質を問いかけていく。忍び寄る病魔、耐えがたい腰の痛み、遅々として進まない市の復興計画……。数々の障壁を乗り越えて、77 歳の彼は夢をかなえることができるのか。

<http://senzoninaru.com/> ●予告篇もあります。

## 池谷 薫 (いけや・かおる)

1958 年、東京生まれ。同志社大学卒業後、数多くのテレビ・ドキュメンタリーを演出する。97 年、蓮ユニバース設立。初の劇場公開作品となった『延安の娘』(2002 年) は文化大革命に翻弄された父娘を描き、ベルリン国際映画祭など世界 30 数カ国で上映され、カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞ほか多数受賞。2 作目の『蟻の兵隊』(06 年) は中国残留日本兵の悲劇を描き、記録的なロングランヒットとなる。2008 年から立教大学現代心理学部映像身体学科の特任教授を務め(13 年 3 月まで)、卒業制作としてプロデュースした『ちづる』(11 年、赤崎正和監督) は全国規模の劇場公開を果たす。著書に『蟻の兵隊 日本兵 2600 人 山西省残留の真相』(07 年、新潮社)、『人間を撮る ドキュメンタリーがうまれる瞬間(とき)』(08 年、平凡社、日本エッセイスト・クラブ賞受賞)。「先祖になる」は 2013 年度文化庁映画賞(文化記録映画部門) 大賞、第 63 回ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞特別賞、第 37 回香港国際映画祭フーアーバード賞(グランプリ) を受賞。



主催 東京経済大学「五感とファインダー×東日本大震災」実行委員会 <http://gokafa.blogspot.jp/>

問合せ先 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学  
コミュニケーション学部 川浦康至研究室 (ykawa@tku.ac.jp)、広報課 (042-328-7724)